

美濃焼
遺産

古窯変ストーリー 「桃山浪漫」

陶器に命を与える極上の粘土、緑豊かな大地から供給される多くの薪…美濃というエリアは、陶芸作家たちの創造性を十二分に刺激する"美"のフィールドです。そんな伝統と革新に満ちた場所で、カネキ製陶所はタイルを通じ、誇り高き文化を継承し続けています。中でも、焼き物の風合いを色濃く反映した「古窯変シリーズ」は代名詞的な存在と言えるでしょう。この古窯変の魅力について、美濃焼の歴史を紐解きながらご紹介します。

歴史探訪 ～美濃桃山古陶～

遡ることおよそ 300 万年前、瀬戸・常滑・美濃・多治見といった広大な一帯には、現在の琵琶湖の約 6 倍もの大きさがあったといわれる「東海湖」という巨大な湖と、湿地帯が広がっていました。ちょうど東海湖の東側には、猿投山などの花崗岩が多く見られたのですが、この物質こそが美濃焼の原点。湿潤・多雨気候のもとで露出していた花崗岩は、化学的（鉱物的）風化作用を受け、その結果、大量の粘土鉱物が生成されました。生成された粘土や枯れ木などは、当時の河川によって下流へと運び出され、本来ならばそのまま海へ流れ込むところ、偶然側に在った東海湖に流れ込み、沈殿してカオリンを含む " 陶磁器に適した " 粘土層を形成。また、湖に流れ込まなかった花崗岩には長石が多く含まれており、釉薬の基材として活用されました。

周囲を山に囲まれた東濃地域は陶磁器焼成の燃料となりうる木材も豊富で、丘陵地の地形は登り窯の構築にも適していました。古くは、山の斜面を掘り、土で作った天井をかぶせただけの原始的な穴窯が多かったのですが、これを改良し、斜面に沿って " 階段状 " に焼成室を連結させたのが登り窯。下の房の廃熱がそのまま上の房で利用されるため、非常に熱効率に優れており、たくさんの作品を一度に焼けるという利点もあったのです。このような自然の恩恵が重なったため、まさに美濃は陶芸の地として、その誕生を運命づけられていたのかもしれない。

東海湖のエリア



濃尾平野に存在していた東海湖のおおまかな位置イメージ

登り窯



今でも見られる登り窯





茶器 という名の 芸術

時は進み、いざ戦国の世。東海地方にも馴染み深い名将、織田信長が頭角を現し始めた頃、"政治戦略上の思惑"も秘め、茶の湯がもてはやされていました。信長は茶道具である茶碗や茶釜などを武勲の褒美とすることで、その価値を武家社会の中で一気に高めました。価値が高まれば、主君のために命をかけて戦う優れた部下がつく…そのような計算があったのかもしれませんが。この政治戦略的な手法は豊臣秀吉に引き継がれ、信長の使番であった古田織部を3万5千石の大名に取り立て、織部正（国の産業大臣のような役職）の重要ポストにつけ、商品企画や流通、体制づくり、品質管理など茶陶生産の全てを任せたといいます。これこそが、桃山時代に茶陶が隆盛を極めた瞬間。茶道文化に造詣が深い二人の最高権力者の擁護を受けながら、産業の育成管理を行った森城主による組織的な指導管理、瀬戸の陶祖である加藤四郎左衛門をはじめとした"瀬戸6作・織部10作"など美濃の名工たちの窯技術がダイナミックに融合し、天才芸術家である古田織部の総指揮のもと、競い合いながら創造の限りを尽くし、美濃古陶の名品が数多く誕生したのです。



現代建築への融合 ~千差万別のタイル~

国産陶器としては希少な国宝に指定されるほど、名器を生み出した美濃の茶道具はどのようにタイルと融合していったのでしょうか。もともと仏教建築の装飾として日本に伝わったタイルは、中世には禅宗様の寺院に用いられていました。その最古の例は、現在でも瀬戸市の定光寺で確認できます。一般には木造建築が主流のため、あまり普及しなかったのですが、茶道具としての"敷瓦"を美濃や尾張で生産したことで状況は一変。幕末から明治にかけては、日本流のタイルを生産しようとする企業理念が広がり、"本業敷瓦"が流行すると、タイルの可能性はさらに無限の広がりを見せていきます。カネキ製陶所でも、多くのタイルを生産する中で、茶器の伝統を色濃く反映した「古窯変シリーズ」には特別な思い入れがあります。至高の宝を生んだ美濃の誇りを継承するべく、今後もタイルを通じて美の世界を創造し続けます。

定光寺の古いタイル群



Variation of Koyohen

古窯変 波紋

波の輪のような形状が特徴。和にも洋にもマッチするシリーズ。



古窯変 25mm角/35mm角

焼き物らしい風合いが、レトロな雰囲気醸し出す正方形柄。



古窯変 KBボーダー

インテリア壁のアクセントにも使われる人気のボーダー柄。



古窯変 桃山陶75角/アールデコ陶75角

美濃の名陶と、アールデコ建築を彩った高級感漂うシリーズ。



古窯変 75二丁

日本の伝統カラーとモダンカラーを兼ね備えた、重厚感に満ちた壁面用商品。



古窯変 42四丁

完全磁器質のため、内外装で幅広く活躍するゴージャスな品。

